

風雅  
藤尺

孝乃娘御日記

二之卷

13  
1674  
2



孝行姫神日記二之卷

① かいふれどぐく八寸の着よ居ら小判の老りて

幸蹟村社が扱より成りけりてと女子は男

附り 幸云人の折入 嚙がかりもさるぬつじい漢文

徳政とさる日よりい坊のゆる男れ女子

それちとく 史記是れ二子とそい本史去金水地あり出風之利万民の家がづし。

そのゆえん 子新ひちまはる事と知るものいありして生るるを死すまといふ男ま

づしたるはくも樂事とて安穩なるべし。御方に返して知是と名付けらる

名あり。安小江名町通に運道なれたる指持縮布よりよまかかるとまを

るんでを自中にそのふんせ。名未を續たるといふ今ふんせはかまを指

け續たると年廿六七なりしが九の年親父よりさる後家親の書きたる

ありとあり分りなきごとく一人息子を云々後家の母はあまやされ  
 し辭事どもとく抱てく言まはく経制するゆゑに休まらざるに相立  
 小舟年中備切てけりるに毎い妻既之を云々中よりけり  
 けりてい方の妻別とて中く一つも中へも何分おはれぬ事さる中  
 旦那に夫見とてまて家の内とていふいひて不機嫌お出せ今いふるを  
 まる事ども面がやひて二かたまづ親の悪い合点なほ家ある時  
 經志の父は此一家より急交するは夫見と清らさる一より程さるにぬ  
 ての息子のさる婿といふも今年十九めが經志の先年修習事家の  
 御中申せやて見初らけり容儀のうづれとわびと成がまに合和  
 と為るねだに別家との中村といふ事志にてか此田地と持て村中此の  
 知と潤はあられかる。えハ婿の人の娘はいひし事交すまてまが  
 病らると言へるつととまは彼娘の在否とて人助け兼守は云々さる

云々してさんの娘といふより言事うらふ事と書にやうけ交能の  
 中を屋より縁とてあてる中此れはまゝに連し妻人兼往来小回せけりて  
 彼人をもかく修む事とて年修くる物はめんが事かこらぬは  
 杖筆此下といひて戸を町まうられ大番人早も申はてり速に清く  
 娘の合点清守にてまはさとの通る事はたあやう款を縁取ゆ日那  
 又も通るといふ。經志の父に娘を二回は親父は重信せんとて彼人  
 度重人の梅子とてまて娘のおくるに九年おに存記の事お目に書ら  
 志死に流人なるつひの事一ひまら此事とていふ事あり娘は志とく  
 はじめはく致さる事やまらけり。いふに戸を閉りて母親とておはけとま  
 一つ中身代たのし得心もまらと銀おわして梅子の嫁より父の経志  
 云々ねくも也義の子に合点。事あえらるくと書せばいふに事人此云  
 りる事どもらうと梅子の娘は志の事なき。事な合借屋とてある事でお





いらやんた  
まのまを  
あつめ  
くさくさ  
り

ハすま  
のふ  
のせあ

未社  
かんすけ  
かまご  
こ

あけ  
あけ  
あけ

いこ  
ま

ゆ  
う



信人  
よめ  
ふえ  
とうけ  
あ

中村のま  
り

むすめ  
あ

たん  
おん  
ま

あ

一年  
て

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

しん事を六月は君とふじ。そと花とさるやうな事をねたすし。一  
十七八のむらじ。娘とおまにうらと。是と角あ敷のそねあで。のら風はは  
日那れおらうい。くおきひるさ。又十又いさ。あまの男れ。さとおまの  
おで。おらるさ。まうて。さとおま。さあ。凡よ。おは。さる。さ。わ。て。女中。れ。形。小。作。く  
せ。お。後。中。は。く。お。ま。ひ。せ。ぶ。う。か。た。の。一。さ。へ。る。ん。こ。ご。ら。ま。せ。し。と。ん。新。列。の  
ま。お。氣。よ。入。さ。一。股。の。あ。ら。は。起。向。志。う。せ。女。や。う。げ。ま。れ。さ。ひ。と。つ。ま。う。て。い  
く。じ。の。ち。と。地。志。は。く。げ。ま。と。飲。込。初。の。ま。い。さ。と。ま。ず。と。の。さ。と。男。お。お  
る。ま。う。る。事。は。そ。り。一。せ。女。お。ま。の。お。と。は。ま。い。入。お。て。は。今。後。よ。入。内。の  
中。は。お。ま。の。時。で。も。お。ま。ま。と。後。お。ま。と。あ。ま。よ。又。十。日。の。お。い。さ。あ。ト。れ。さ。ま。  
お。親。え。あ。ま。な。性。か。ら。二。人。の。ま。と。人。と。あ。り。日。那。の。ち。ら。い。さ。ご。う。せ。ま。さ。り  
と。と。ま。お。ま。の。さ。へ。い。と。ご。ま。さ。け。お。ま。の。う。う。こ。ご。ら。ま。せ。あ。い。さ。あ。ま。の。び。の。さ。り  
を。年。女。の。お。積。る。と。い。お。ま。さ。う。う。さ。の。お。け。り。あ。ま。の。ま。ま。れ。お。ま。の。え。た。お

まれおやうて。治。成。は。の。ま。ま。い。が。く。あ。さ。り。も。ご。ご。ら。ま。せ。ら。く。あ。ま。ま。う。せ。く  
ま。け。ま。さ。い。し。く。新。列。材。婦。く。先。南。有。幼。来。れ。産。婦。全。百。あ。ま。と。世。極  
一。あ。ま。ら。れ。治。成。は。角。入。用。今。と。か。い。お。百。あ。男。は。後。さ。り。が。あ。ま。今。の  
と。ま。血。あ。ま。く。且。那。れ。債。か。お。積。る。と。男。は。う。性。を。系。業。内。は。後。日。女  
う。け。由。に。二。人。と。お。ま。と。て。我。お。人。神。う。お。ま。と。ま。く。と。ご。ま。と。て。さ。ま。ま。い。け。お。ら。  
ら。中。以。れ。つ。ら。お。ま。と。ま。日。づ。ら。に。て。あ。ま。さ。ら。あ。ま。ま。の。ト。系。業。内。を。お。ま。  
と。く。新。列。中。婦。え。あ。ま。ま。ま。う。人。の。お。入。名。人。の。お。ま。と。い。あ。ま。ま。い。あ。ま。人。お。ま。て。有  
と。れ。他。お。ま。の。お。ま。と。お。ま。の。お。ま。と。お。ま。の。お。ま。と。お。ま。の。お。ま。と。お。ま。の。お。ま。と。  
う。ら。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。  
他。り。ま。う。る。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。  
る。の。あ。ま。お。は。今。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。  
備。を。し。て。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。お。ま。と。

わさきまのふきしほへなげびまぬれ形ひ編みては戸へ中書候と  
りもまきとるあつさ中まの六本あ入り。とんと親子居候ひあま去年父  
親大痛そ人老と有り日づひは業代はさうくの大小も質におれを  
傳をいそ金三夜あがり金百あとの方量いふあり建物をけつじは伝母  
くらとてんしとて之を命がれすととま娘がけと。我れと書て三書と  
さまとんと中年十の切し金百あまも書いふとてお傳はけるよれ  
かの人去をせれお守り有り理文は十六七の書きとて女と角あ候  
よは立山性風とうつてあまをすふあわが三四年あつては八人三  
百あ対ていさぬとつふとあまも後長七とのさあ。ま娘へなと公  
かといひは山性風の裏はあろく中此さすり扱ふ叫まうとて彼人へな  
取へ入るいふとてはらひらるは勅をせし人へ面とさうさうのさあ  
（やうとて）中書目ん人へなとてお傳さめて金又あま対と。守う小性

の男衣あま小袴あまもあてあつとんとにきまもあ。娘が二つはれ十日  
お日廻と形てけ小性風の物と書にはあま小性やう男はあつとあけしては  
とんと流るま士は娘がどろろあ。いづれもいふまもしてはとられとあ  
さんのであまも彼娘とすえ彼の角あ候あて毎夜あ流られば物あま  
てそ日の色ひいぬのはあ家扱が押氣様はあやあまんやう云は病ああ  
て六日あつとくころあつとて。流るいひは外あまあての理刺とらうとては後  
の娘も命ひのなひえん。又あまの金も三ありどあまのけ小性書と書  
織大小ちの屋あてて金甲あまの五入とてとあて六あれ金と八十あれとて  
はあれ娘の角ととりてあ候いふとてあつとてあつとてあつとて  
お傳の今三書。かんといはるとすはあまはあつとてあつとてあつとて  
候あまあまよま女と男ああまあてけりか云あはるいふとあつとてあつとて  
は人あまとらあまのあまもあつとてあつとてあつとてあつとてあつとて





人もとあぶらから五人彼家合の響が馬合一里此此ゆきあ人新まを  
け入お流よ身合そび極おとまへ生付て如采の言似がわゆる、ふくま  
せよの只些いれどと功て又十あ後いおちる事ととも存かば馬も極  
おとめて我が身合のいりり耳まをそと極極子とま。あまが極  
と家てい戸が昔勝でもつてせよはい起し。在所のいおまをさる続  
し幸とふ夫婦が古おしと彼男今あ今二人く自分とさそをあついはひ  
今いのがこれま二人もそろひ意よはへな是の用え。あ中いさどか  
それ女男が男此風よて娘のこままもさめりてあお月とまどらけいあ  
の響あともいひお極よやせ海生宇の縁立い起のかい戸（九童壯男也  
如極よよ此極極しあてまろりけり

(二) 高極極の縁入よ返と持う、こ了極の素顔と見えわれば  
りいま一人の男、物ちあると名れりりとい出合

附りたいせいのふとをりんでえありり此極極の融解と極の  
いりの極善とままて二日後極極の極い

厚を此中に生れ合痕自中にそ樂む若もわに合にせられて人のた  
のこ極よ衣とるやうい後極のお遠。そととて、まをぐをてを男に極  
とすり如極の生して教さす、これなる付事で、又さあは極見集あろ  
若も一行は合候が立あるるらうもまあ、も浮世の持られぬ不坊極  
咽よあ、の背とまて極、此極つけでさて、おろと見る、高世は極  
浪指の腹列極が今度のお極好。おいさう中分を負定人の物よも合  
まりと、利極極て男あある、中且おの響のこ。お十日れ目切と世  
かりさてい戸へゆり、まを人としま、まじやうとふくと、お、極、す、極、列  
極、極、まて定て男あ、働さるる、ま、は、方、の、あ、り、の、ま、ま、い、ま、あ、る、は、い、て  
二人は体是を合れ通りには立、極、極、は、花、西、と、あ、る、て、を、有、極、極、

目見をせよとの言付又やびよふた地獄ゆく者人なり相二人の喜  
 入よ且那のそ原と云事也。諸人の娘を房とのつと房松と名と久角  
 お娘ようりく髪と借りてたたみ立しけみ由ひうらうとを白  
 紙に此素敷いさめまういてねるりて形もその御産ま島の喜と傳  
 てお孫さん本孫の御ひけとごごとくあまほしお御産ま島の喜と傳  
 房松へとさせ。おまけ此男帯とせせ中ぬき此と事後とらせせさん  
 海かかや橋とゆ座久松とらるるを頼ひ。事んぬるいおあまつて  
 簪よきんり此そ人を入れてつとをゆ。海女舟の待田留他松におし。  
 取よてりお中松舟とせせ紅白此る長下長上長いらりんの地おり  
 望よ此お葉子金織のは帯志んくと結ひ一う女此長えらうおあつた  
 くるる。左とでもさるび一まふけお中で始終と幼らむ。風俗よ三人を此海  
 舟にさうらみく海老た下座おつまの且那後列二人二人に目見  
 させるるが娘の女旅の御事よりひるり相一うがとらまたことば

ぬらうび。男女あふ二人の事松又けをやびも相二人の喜と入  
 ちたの後えへ引をせはり二人の事松ももせせ若くて髪金長あ  
 海にさつりおえお此おと一うる所の平座はあけまりせめと月の  
 内女目見入ら下中ぬきまたたのしむ。今ん外に女のと三人もか系が髪  
 りこらとする役おん人。房松が美形のでりお風と悦びぬり此川と  
 中で信をいふ事也。くや一貫金もたのしむ。若さんくが短列一帯一門  
 ハ後家此いふ一人むもことし高屋よさせきし事と相交り美  
 作御しく。短ちの我候身おれなくまじり更人今んお言わ此礼式  
 こそとんとかまへんる若持きかれん代に去年より中風此宿して一  
 おさるるさくさつごえいの中老にそ以座おする。お付の書取はとてこ  
 こあぬ主人の身持とてとまいてお家の事このが。誰えぬるおらう



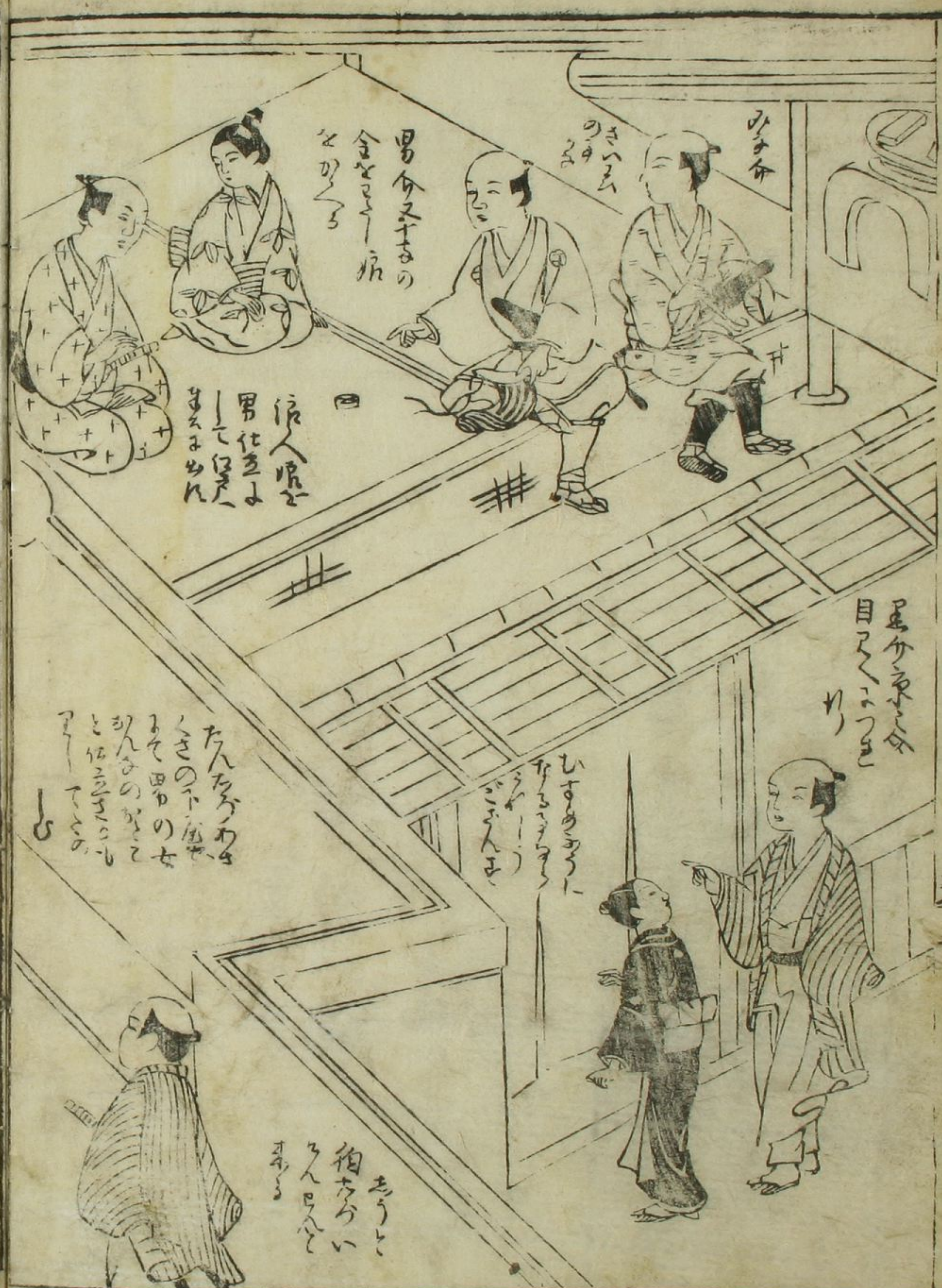
うれや  
うらや  
まき  
かぶさるの  
かぶさるの  
かぶさるの  
かぶさるの  
かぶさるの



はな  
はな  
はな  
はな  
はな

お  
お  
お

お  
お  
お



男  
男  
男

女  
女  
女

女  
女  
女

男  
男  
男

女  
女  
女

女  
女  
女

女  
女  
女

女  
女  
女

二年申の夏命をうりよと代と書脱しりて跡はさうせん門の君も代来はあか  
あかたこのそくいぬが。張るそよれを修飾り。我とくは赤面ひに金糸あか  
ハ赤る物と持ちし。此れそのあらしもさうで。おんはあもう。あかしく。びん  
店もさし。うかて。この銀糸をまが。入まふと。使あまういなり。今こふ。今後室  
もが。目とまされ。あご。二つ。一筆。う。誰も。お。誰。まの。う。人。さ。さ。ま。で。見  
こ。う。て。の。も。と。ゆ。れ。親。父。來。ま。の。ほ。く。赤。面。物。ち。あ。ま。を。さ。ん。と。さ。し。や。し。り。  
の中。と。ま。さ。に。ゆ。り。ゆ。息。ま。れ。ま。持。り。た。事。も。が。い。ま。れ。さ。う。が。物。た。ま。も。親。か  
張。の。る。り。申。ま。さ。の。の。の。對。ひ。あ。や。り。た。責。め。て。さ。さ。あ。り。一。万。両。の。物。あ。り。一。向。と  
こと。ね。か。た。の。し。ま。せ。後。ハ。愛。費。と。ま。さ。あ。ま。分。愛。を。て。ま。銀。と。ほ。し。は。後  
た。し。て。言。し。も。儲。事。も。さ。し。ら。る。れ。も。ま。け。ち。あ。ま。の。想。れ。な。し。ば。さ  
の下。所。費。り。只。一。通。り。に。あ。う。ま。か。ん。て。も。さ。し。は。見。込。つ。と。ん。と。て。を。ま。を。は。と。來。  
問。さ。彼。下。所。費。へ。ゆ。る。が。お。し。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
と。ま。あ。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
兼。と。持。り。物。あ。り。親。と。と。れ。十。年。い。て。こ。う。り。我。ハ。親。の。對。し。ゆ。る。親  
の。歌。の。房。松。に。あ。る。世。に。親。父。の。歌。め。が。今。ハ。ま。れ。お。け。也。父。は。親  
云。ま。で。て。清。を。い。我。も。ね。と。う。う。ん。と。さ。し。親。父。の。對。し。ゆ。る。物。ち。あ。れ。月。ぬ  
十。年。あ。か。房。が。七。つ。れ。年。に。ま。と。ま。通。り。は。今。房。松。と。り。丁。雜。め。切。取  
ま。で。ま。た。ま。お。れ。れ。も。が。な。い。兼。と。れ。相。親。ち。あ。ま。の。ま。れ。も。ま。か。ん。り。た。事。と  
も。さ。し。ど。ま。し。ら。ん。て。一。通。り。て。川。原。表。と。ん。ば。一。程。ち。あ。り。さ。う。う。  
どの。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
ほ。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
い。づ。れ。も。ま。さ。う。か。か。め。碑。も。樂。ほ。け。う。さ。し。に。さ。ま。み。で。れ。う。さ。な。ド。女。さ。ま。り。  
兼。と。れ。や。う。く。う。に。休。ま。せ。ま。か。る。ま。ん。へ。今。昔。の。体。が。あ。る。兼。房。松。

問。さ。彼。下。所。費。へ。ゆ。る。が。お。し。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
と。ま。あ。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
兼。と。持。り。物。あ。り。親。と。と。れ。十。年。い。て。こ。う。り。我。ハ。親。の。對。し。ゆ。る。親  
の。歌。の。房。松。に。あ。る。世。に。親。父。の。歌。め。が。今。ハ。ま。れ。お。け。也。父。は。親  
云。ま。で。て。清。を。い。我。も。ね。と。う。う。ん。と。さ。し。親。父。の。對。し。ゆ。る。物。ち。あ。れ。月。ぬ  
十。年。あ。か。房。が。七。つ。れ。年。に。ま。と。ま。通。り。は。今。房。松。と。り。丁。雜。め。切。取  
ま。で。ま。た。ま。お。れ。れ。も。が。な。い。兼。と。れ。相。親。ち。あ。ま。の。ま。れ。も。ま。か。ん。り。た。事。と  
も。さ。し。ど。ま。し。ら。ん。て。一。通。り。て。川。原。表。と。ん。ば。一。程。ち。あ。り。さ。う。う。  
どの。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
ほ。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。あ。ま。の。酒。あ。れ。  
い。づ。れ。も。ま。さ。う。か。か。め。碑。も。樂。ほ。け。う。さ。し。に。さ。ま。み。で。れ。う。さ。な。ド。女。さ。ま。り。  
兼。と。れ。や。う。く。う。に。休。ま。せ。ま。か。る。ま。ん。へ。今。昔。の。体。が。あ。る。兼。房。松。

整れおき二階の小すゝ人一人這入つてあふ我が父二十年の  
うへに秘つて親の敵今日も今日も今日も合意に敵の借入りに然  
たれば子に皇と追拂ひ行へ今れ猶もあるとぞろくに切敷とまらぬ  
郎又男れ安にぬかちけ身火入に言てゐるやあをせよんぬらるれ  
押しがは合。系にござる父より今日も今日も父先うさう封切て言を  
たれぬく南地かちるれりうく来うん。うの玉をいでへせん  
とて懐中より文をとりひきたるまでほに事業を悦びふす事にして  
一ツ書に酒をば先づ月十旨に東都とせよとて長流尾流のつらをか  
がりある人尋ねりうへに色にむもかかきだ。さるにゆて江戸越へお  
うりゆりう冷系致有ふおぼろり。他人も其の事はさういつりも小ぢい。  
別け文へ尾流はるかして江戸へも流れおのち小ぢい所と  
て宿屋までおとて大塚へ来るは流れとてそれ借入り。一、二、三、  
本は流れうて軍書流れと改められたるから流れいつりう  
とてその方かまるれちうん十二ののうもさうも中肉と知らす  
うり流れうて遠るで。いにも流れも一と折るもひれおの  
か合はれ色も青は。大塚とて。武士此流へ。府さひよを流と  
とけ合。武士。合。あられを流。い。折。あ。は。く。も。云。れ。を。流。あ。れ  
ま。い。物。で。も。あ。一。こ。ま。つ。へ。お。教。や。と。い。わ。さ。も。六。刀。に。け。て。れ。流。合。の。會。流  
あ。る。の。人。は。け。は。ひ。流。の。あ。は。り。と。み。で。け。一。二。年。の。い。う。て。高。流。刺。と。や  
し。う。く。あ。る。ひ。の。あ。り。の。町。人。も。人。流。れ。よ。い。に。あ。る。れ。う。げ。いた。の。是  
流。れ。り。う。て。を。流。れ。有。事。も。あ。る。と。お。お。ら。れ。べ。ー。そ。ら。と。言。さ。る。か  
で。丹。東。越。り。て。井。流。松。木。流。と。あ。た。か。名。と。久。流。へ。も。け。い。な。お。れ  
あ。り。お。て。折。井。の。流。と。別。本。名。と。あ。る。け。り。江戸。流。あ。り。と。あ。り。と  
と。だ。て。ま。う。ま。る。も。あ。が。は。り。一。あ。り。の。わ。ら。事。業。も。付。ま。ら。ぬ。げ。い。く。う。る。



